

## フィリピン国バギオ市が市内中小企業アムコンの技術を導入 フィリピン国内で汚泥脱水装置の普及が進んでいます!!

公共下水  
処理への  
初納入

～Y-PORT事業における市内企業の海外インフラビジネス展開支援～

横浜市は、新興国の都市課題の解決支援と市内企業の海外展開支援を目的として、「横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力(Y-PORT 事業)」を進めています。

市内中小企業アムコン株式会社(横浜水ビジネス協議会会員企業※)は、横浜市とフィリピン国セブ市との都市間協力の枠組みのもとで、平成 25 年 1 月から平成 27 年 1 月にかけて、JICA 中小企業海外展開支援事業において、セブ市で腐敗槽汚泥の脱水装置の普及・実証事業を実施しました。この装置は、排泄物なども含む汚泥を効率的に固形分と水分に分離するものです。この装置の効果が、省電力・省水量及び運転管理の容易さ等の面で現地の汚泥処理の課題対策に効果的であることが示され、**腐敗槽汚泥の適切な処理を国レベルで進めているフィリピン国公共事業・道路省をはじめ、周辺自治体や民間企業からも高い関心が寄せられています。**

※横浜水ビジネス協議会：Y-PORT 事業の一環として、新興国などにおける水環境に関する課題解決や、市内企業等のビジネスチャンスの拡大を通じて、市内経済の活性化等を目指す横浜市・企業・団体等で構成される協議会



セブ市での実証事業の様子



セブ市でのデモンストレーションの様子

この普及活動で同社は、セブ市を始めとするフィリピン国内の地方自治体等を対象にしたワークショップ参加者や事業期間を通じて見学に訪れる専門家等に、製品の特長や効果検証結果を、実機によるデモンストレーションを交えて行いました。**この活動等が契機となり、今般、バギオ市の既存下水処理場への脱水装置納入に至りました。**



バギオ市での脱水装置据付中の様子



バギオ市での脱水装置据付後の様子



脱水ケーキの様子



ろ液の様子

同社は、これまで海外においては公共下水処理場への脱水装置納入の実績はなかったため、JICA 普及・実証事業の実施は、**同社製品の販売網が拡大した点において、大きな効果がありました。**同社製品を導入したバギオ市下水処理場のメリットとしては、①汚泥処理時間の短縮(2か月程かけて乾燥させ販売用の堆肥を準備していた作業時間が大幅に短縮できること)、②場内衛生面の改善(汚泥が場内搬入された後、悪臭やハエ等の発生が大幅に低減される)等が挙げられます。このように、**横浜市内中小企業の技術が海外都市の環境改善に貢献**することにおいても意義のある事業です。

同社は、上記のほかにも民間工場等への納入実績をフィリピン国内で積み重ねており、JICA 普及・実証事業後、すでに7台が納入されています。

### ■関連情報 3月7日(火) 第18回Y-PORTワークショップ開催のお知らせ■

Y-PORT 事業の一環として、市内中小企業の海外展開を促進するため、今年度12月にベトナム国ダナン市、1月下旬～2月上旬にフィリピン国メトロセブ及びカガヤン・デ・オロ市において、多くの本邦企業参加のもと横浜市内企業の技術・製品の活用に向けた企業合同調査を実施しました。(参加企業：ダナン12社、メトロセブ14社、カガヤン・デ・オロ8社)

本調査によって得た現地ニーズをより多くの市内企業の皆様と共有するため、3月7日のY-PORTワークショップでは、合同調査に参加した企業の方々から活動結果等をお話し頂きます。

海外インフラビジネスの形成に向け、幅広い分野の企業の皆様と意見交換致しますので、同業者の皆様等お誘い合わせの上、お申込みください。御参加をお待ちしております。

日時：平成29年3月7日(火)14:00～16:30 (13:45開場)

場所：関内新井ホール

#### 【参加お申込方法】

- ・お名前、企業名、部署名、お役職、メールアドレス、電話番号
- ・横浜市内の拠点(本社、その他)の有無
- ・中小企業に該当、又は非該当
- ・横浜市及び市内企業との連携の検討の有無を記載の上、ki-yport@city.yokohama.jp まで電子メールを御送信ください。



カガヤン・デ・オロ市でのビジネスマッチング・セミナーで発表するアムコン株式会社

#### お問い合わせ先

国際局国際協力課国際技術協力担当課長 奥野 雅量 Tel 045-671-4703 (全般に関すること)  
 環境創造局下水道事業推進課長 折居 良一郎 Tel 045-671-2940 (横浜水ビジネス協議会に関すること)